

10/17 スポーツ推進委員功労者表彰を受章

10月17日、10年以上にわたりスポーツ推進委員として地域の社会体育の振興に尽力された、大西文雄さん、生山正三さんが北海道スポーツ推進委員功労者表彰を、齊藤美恵子さんが十勝スポーツ推進委員功労者表彰の受章を小堀教育長へ報告しました。

表彰を受けたことについて、「フロアカーリングなどのニュースポーツを取り入れるなど、地域の方に運動を身近に感じてもらえる活動や、スポーツ環境の整備などに取り組んできた。10年以上の活動を通して、地域に貢献することができて嬉しい。」と話されました。



10/25 上士幌中竹内さん トランボリン全道大会出場

第39回北海道トランボリン競技選手権大会(10月28日～29日、津別町)に出場する竹内愛詩さん(上士幌中1年)が教育委員会を訪れ、大会への意気込みを語りました。

竹内さんは、「個人、シンクロの部で出場するが、年齢制限がなく、高校生や大学生も出場するため、練習の成果を発揮し、少しでもいい点数を取ることが目標です。」と話してくれました。

10/26 秋だ！なめこだ！なめこ収穫祭！ 上士幌小学校放課後ほろんクラブ

教育委員会主催の「放課後ほろんクラブ」が上士幌小学校で行われ、町内の林業グループ「ドリーム林夢」が協力し、なめこについての学習と、上小なかよしの森で育てたなめこでなめこ汁を作り、アルミ缶を使ったご飯炊きをしました。

6年生の女子がなめこ汁を作り、ご飯炊きでは、2本のアルミ缶をコンロ・お釜として使い、牛乳パックを燃料として燃やすことでご飯が炊けるという体験を行いました。

寒空の下で食べるなめこ汁とご飯は大好評で、みんなで秋の味覚を楽しみました。



10・11月の
まちのわたい

【芸能発表】

- ①カラオケ「麦畑」(歌謡友好会)
- ②吹奏楽(上士幌中学校・上士幌高校吹奏楽部による合同演奏)
- ③太鼓「高原幻想曲・獅子舞」(ナイタイ高原太鼓「響」)
- ④ヒップホップ「トレジャー 他」(上士幌ヒップホップダンスサークル)
- ⑤民謡「播州酒造祝唄」(上士幌民舞会)

【展示部門】

- ⑥「菊」(内藤隆藏さん)
- ⑦「ステンドグラス」(ステンドグラスの会)
- ⑧「絵手紙」(絵手紙サークルどんぐり会)



読者からの投稿

上海旅行顛末記 上士幌中国文化俱楽部

文・山田 孝男さん

その二



▲上海の緑深い公園



▲上海QRキャッシュレス端末



▲上海の巨大氷金時

Topics of this month

まちのわだい

▶ 11月号に続き、上士幌中国文化俱楽部「中国語寺子屋」上海研修旅行4日目からの顛末記です。いろいろなことが起きた上海研修旅行ですが、参加者の皆さんはそれなりに楽しんだり、感動したりすることがあったようです。

【4日目】

4日目になると皆さん上海にも慣れ、早朝にホテルの周りを散歩された参加者の話を聞くと、樹木が多く気分がとてもいいと言っておられました。この日の午前中は戦前日本人街があった「魯迅公園」に行きました。かつての日本人街は、昔の風情を残してリメイクされて綺麗な街並みになっていました。魯迅公園は歴史を感じさせる多くの樹木と花卉がいっぱい、市民のオアシスとなっています。

昼食は地下鉄で田子坊に戻り、中華から日本食、洋食まである地下の巨大なフードコートで食べました。昼食後は買い物をしたいということで小洒落た店がいっぱい集まっている「田子坊」で買い物を楽しんでいました。時間が過ぎるのは早く、また地下鉄でホテルに戻りました。地下鉄は3元(日本円約50円)で、ほとんどのところに行けました。ホテルに戻ると最後の晚餐は近くの焼鳥屋で食事をとり、締めはあの露天の生ジュース屋さんへ。なごり惜しむようにマンゴージュースで乾杯しました。

すると、店の店主が最後の日ということでフルーツの盛り合わせをサービスで出してくれるではありませんか！皆さん顔を見合せて感激し、また上海に来るねと言ひ聞かせていました。「中国語：再来上海吧」

【5日目】

5日目、早朝にホテルでサンドイッチ弁当をいただき、予約していた8人乗りのワゴンで上海浦東空港へ、そして上海—羽田—帯広・上士幌へと皆さん元気で戻ってきました。「中国語：回來了上士幌」



▲旅の仲間と上海新市街

11/1

～子ども服を難民へ～「届けよう、服のチカラ」プロジェクト



上士幌中学校生徒会は、「ユニクロ」を運営するファーストリテイリング社が実施する「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加し、9月末までに集めた16箱分の子ども服を発送しました。

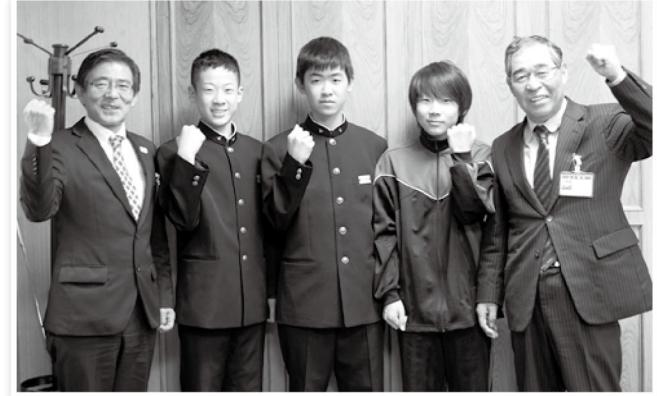
3年連続の参加となったこのプロジェクトでは、町内の小学校やこども園などに回収ボックスを設置しました。生徒会長の石川玲衣さんは、「難民の人々に服を届けたいと思い、今年も活動を行った。たくさん集まって満足しています。」と話していました。

11/8

上士幌小大野さん、上士幌中千年さん、山崎さん卓球全国大会出場

平成29年度全日本卓球選手権大会カデットの部(11月10日～12日、熊本県)に出場する大野隆斗さん(上士幌小6年)、千年颯太さん、山崎航誠さん(上士幌中1年)が竹中町長のもとを訪れ、大会への意気込みを語りました。

大野さんは「初出場なので、初戦の勝利を目指します。」千年さんは「初戦から強い相手と当たるが、良い成績を残したい。」山崎さんは、「ダブルスのみの出場だが、ベスト8を目指したい。」とそれぞれの抱負を話しました。



地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE:子どもの読書推進活動

記:社会教育推進員 阪口 香奈代



上士幌町では、子どもの読書活動を活発に行うために、平成28年3月より「上士幌町第1期子どもの読書推進計画」を策定しております。その中で今回は、私が担当しております、子どもの読書推進活動について一部報告させていただきます。

9月16日、生涯学習センターわっかにて、絵本作家の「よしながこうたく氏」をお招きし、読み聞かせサークル「カッコウ」と絵本の読み聞かせ、観客との掛け合いで即興で絵を完成させるライブペインティングを楽しみました。子どもたちとの掛け合いの中、生まれたキャラクターは、教育委員会の2階事務所にて展示中です。教育委員会によられた際には、ぜひご覧ください。

また、11月2日には、上士幌小学校の学校図書館で同じく「カッコウ」さんによる読み聞かせが行われました。この日は読書週間(10月27日～11月9日)に合わせて、北海道「朝読・家読」イメージキャラクターのぶっくんも登場し、大盛り上がりの一日でした。読み聞かせサークル「カッコウ」さん、町の図書館を始め、地域の方の読み聞かせなどさまざまな方のご協力で読書を楽しむ活動が広がっています。

みなさんの充実した日々に読書活動が貢献できるよう頑張りますので、これからもよろしくお願いします。



▲よしながこうたくさんと絵本の世界



▲読書週間 特別読み聞かせ

川柳

我が町に尽して表彰文化の日

平成29年 10月末現在の人口	
男性	2,417人(+10人)
女性	2,551人(-1人)
人口	4,968人 (+9人)
世帯数	2,498世帯(-1世帯)

坂田 いさ子

短歌

秋雨の上りし今朝の広畑に豆殻焼ける煙ただよふ
夜の更けて外壁を打つ風の音静かに聴きて一人もの書く
うず高く泥まぎれる甜菜の積まれて畑の隅にありたる
先のこと敢へては触れずに妻といま生きおることのよしと思へり
秋晴れのベランダに身を浴みつつ居ねむりしきり心地よきなり
デイーサービスに十一月誕生の言葉を頂いて老齢の身に沁むるなり
今宵またミューズに惹かれその妙に想い描きつ乙女となりて
落葉踏み冬の訪れかみしめてサツマイモ焼くこれまた楽し
冬支度丘室作るちちははの姿を見つつ我也学ばむ
雪の降る季節も真近に低き雲見つ除雪のつらさを思う
ビート堀り終りに近い十一月土場に積まれて出荷をまつ
朝おきて電気釜のご飯盛り仏さんにまず供えをする

小 茂 高 米 松 尾 高 本 石
松 根 森 木 森 田 野 木 間 川 裕
義 博 誠 真 理 よし 乃 風 子
美 守 樹 也 弓 恵 乃 風 子

特集 上士幌高校「上士幌学」

上士幌学とは?

平成26年に上士幌高校がユネスコスクール*に認定されたことから、持続可能な開発のための教育を推進する一環として、地域を理解する教育が昨年度より始まりました。

町の自然や歴史、特産品などについて学び、地域を知る取り組みが始まっています。
※グローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流することで、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対応できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すもの。



ピザとワインの店「パリカ(井上智彦店主)にて、ピザの作り方などを学びました。

この日は、ピザ生地作り、トッピングから焼き上げまでを行い、生徒たちは真剣な様子でピザづくりに励みました。

12月14日に生涯学習センターわっかにて上士幌学活動報告会を予定しており、生徒たちは出来あがったピザを試食しながら報告会で提供するピザのアイディアを出し合いました。

生徒は、「思ったよりも上手にできた。オリジナルピザ作りに向けてアイディアを出し合いながら、地元産の食材を使うなど考えていきたい。」と話しました。



上士幌高校新聞局 通信 月刊上高



▲原爆ドームにて



▲京都の商店街で町をPR

10月26日(木)から30日(月)の5日間、本校2年生は見学旅行へ行きました。

初日は広島へ向かい、原爆ドーム見学や平和祈念式典を行い、夜には被爆者の方の講話を聞くという貴重な体験をさせて頂きました。2日目は新幹線に乗って大阪駅まで行き、そこから奈良にある薬師寺と東大寺を見学しました。薬師寺ではお坊さんに笑いを交えながらお寺の説明をしていただき、東大寺ではたくさんの鹿と大仏を見ました。そして夕方には京都の商店街へ向かい、見学旅行の実行委員が中心になって、「ほろんちゃん」とともに上士幌町のパンフレットと飴を配るPRをしてきました。3日目は一日中京都で自主研修、4日目はバスで大阪まで向かい、大阪城を見学した後に大阪で自主研修を行いました。5日目は海遊館でジンベエザメなど海の生き物たちを見ました。

この5日間で、北海道にはない京都や大阪の町並みを見ることができたり、原爆が落とされた広島へ行くことによって、平和の大切さを改めて実感することのできた有意義な見学旅行となりました。

10月26日～30日
見学旅行へ(広島→奈良→京都→大阪)

文責 林由華

(正)	(誤)	お詫びと訂正
秋葉 吉春	秋葉 吉晴	●広報11月号の28ページ戸籍の窓口「おくやみ」において秋葉吉春様のお名前に誤りがありました。正しくは次のとおりです。訂正し、お詫びいたします。